

平成27年度 事業報告（概要）

社会福祉法人鳥取県厚生事業団

1 本年度実施した主要事項

(1) 認知症グループホームくつろぎの運営開始

平成27年4月に「認知症グループホームくつろぎ」を開設し、運営を開始しました。

法人として初めての事業であり、戸惑いながらスタートしましたが、利用者や家族との信頼関係の構築に努めながら運営を行いました。

(2) 三津白寿苑の移転新築

老朽化している「三津白寿苑」(特別養護老人ホーム)について、利用者の生活環境改善を図るため移転新築を行うこととして、移転用地として鳥取市伏野(現三津白寿苑の隣接地)の土地を購入しました。

また、平成28年9月の着工を目指して、建築設計に着手しました。

(3) 西部やまと園の移転新築

土砂災害警戒区域に立地しており、また、老朽化している「西部やまと園」(障害者支援施設)について、災害時の利用者の安全確保並びに利用者の生活環境の改善を図るため、「皆生みどり苑」敷地内(米子市皆生新田)に入所定員40名の施設を移転新築することとし、建築設計に着手しました。

また、入所者の地域移行を推進するため、現入所者のうち20名については、南部町内に10名のグループホーム2棟を建設することとし、建設用地の調査・取得交渉を行いました。

(4) 障がい者グループホームの安全確保・地域移行の推進

利用者の安全確保及び生活環境の改善を図るため、「ふるさとホーム」、「ひがしまちホーム」の移転新築を行うこととして、建設用地(南部町)を購入するとともに、建設工事に着手しました。(平成28年11月竣工予定)

また、「すなはまホーム」の移転のため、中古住宅を購入しました。同じく中古住宅を購入して移転する計画であった「みずほホーム」は、売買契約が不成立となり、移転を見送りました。「わかばホーム」については、賃貸借契約により移転を行いました。

「羽合ひかり園」(障害者支援施設)女性入所者の地域移行を図るため、「あじさいホーム」敷地内(湯梨浜町)にグループホームを新築する計画でしたが、国庫補助金が不採択となったため、建設は平成28年度に先送りすることとし、27年度においては建築設計を行いました。

「さかいみなとホーム」においては、既存施設(旧境港通勤寮)からの地域移行を図り、全利用者が単身生活・グループホーム生活へ移行しました。なお、既存施設は解体することとし、解体設計を行いました。

グループホーム入所者の防火安全対策のため、4住居で自動消火装置の設置を行いました。

(5) 大規模修繕・備品更新等

利用者のサービス向上を図るため、トイレ改修工事(白兔はまなす園)、特殊浴槽更新(友愛寮、いこいの杜)を行いました。当初予定していた友愛寮のトイレ改修工事は、施設全体の改修とあわせて再度検討を行うこととし、実施を見送りました。

建物の老朽化に対応するため、外壁改修工事（友愛寮、厚和寮）、屋根改修工事（友愛寮、母来寮）、空調設備の更新（友愛寮）、温冷配膳車の更新（巖城はごろも苑）、スチームコンベクションオープンの更新（いこいの杜）、送迎車両の更新（友愛寮、母来寮他）を行いました。

（６）巖城はごろも苑の移転新築

土砂災害警戒区域に立地しており、また、老朽化している「巖城はごろも苑」（特別養護老人ホーム）について、災害時の利用者安全確保並びに利用者の生活環境の改善を図るため、移転新築を行うこととして、移転用地の一部（倉吉市米田町）を購入しました。

（７）デイサービスセンターほのぼの家の廃止

「デイサービスセンターほのぼの家」（老人デイサービスセンター）について、介護保険制度の改正により事業継続が困難となったため、平成２８年３月３１日をもって廃止しました。

廃止にあたっては、利用者が円滑に他事業所を利用することができるよう関係者や関係機関と調整を行いました。

２ 社会福祉事業及び公益事業の実施状況

（１）第一種社会福祉事業（１４施設）

ア 自主経営施設（１１施設）

イ 指定管理施設（３施設）

（２）第二種社会福祉事業（２施設９事業）

ア 自主経営施設（２施設）

イ 自主事業（１０事業）

ウ 受託事業（２事業）

（３）公益事業（２施設１２事業）

ア 自主経営施設（１施設）

イ 指定管理施設（１施設）

ウ 受託事業（９事業）

エ 助成事業（２事業）

３ 理事会、評議員会、監査及び施設長会

（１）理事会 ４回開催

（２）評議員会 ４回開催

（３）監事による監査 決算監査１回実施

（４）施設長会 １１回開催

４ 経営に関する事項

（１）福祉サービスの向上

平成２７年度は７施設が第三者評価を受審し、更なるサービスの質の向上に努めました。

また、認知症グループホームくつろぎでは、地域密着型サービス外部評価を受審しました。(実施機関はいずれも鳥取県社会福祉協議会)

【福祉サービス第三者評価】鹿野かちみ園、鹿野第二かちみ園、羽合ひかり園、友愛寮、三津白寿苑、皆生みどり苑、皆生尚寿苑

(2) 中・長期計画の着実な推進

施設の改築計画に基づき、三津白寿苑、西部やまと園、巖城はごろも苑の改築に向けた建設用地の購入や建築設計を行いました。

(3) 法令遵守(コンプライアンス)の徹底

平成27年度においては、障害者支援施設で利用者への虐待が発生してしまいました。利用者の人権と尊厳を守り、利用者主体のサービスを提供するため、改めて法令遵守を徹底するとともに、再発防止への取り組みを行いました。

(4) 人材育成

・鳥取県厚生事業団職員研修事業実施要綱に基づき各種職員研修を実施し、人材育成を図りました。

主な研修 - 新規採用職員研修、2年目職員研修、中堅職員研修、リーダー研修など

・資格取得の促進に努め、27年度は延べ22人の職員が国家資格(介護福祉士等)を取得しました。

・鳥取県から「障がい者福祉従業者等研修事業」、「介護職員等の喀痰吸引等研修事業」を受託して実施しました。事業の実施にあたり、当法人の職員が講師等を務めたことにより、職員の自己研鑽の機会となり、資質向上につながりました。また、研修事業を通して、当事業団のPRにもつながりました。